

## 「富山県安全なまちづくり推進本部」会議次第

日時: 令和2年2月17日(月) 11:00~12:00  
場所: 県庁4階大会議室

### 1 開 会

### 2 本部長(知事)あいさつ

### 3 協議事項等

- (1) 富山県の犯罪情勢について
- (2) 子どもの安全確保と地域防犯力の強化に関する提言について
- (3) 安全なまちづくりの取組状況及び今後の方向等について
- (4) 「防犯上の指針」の改定作業について

### 4 閉 会

# 安全なまちづくりの取組状況及び今後の方向等について



子どもの安全確保と地域防犯力の強化に関する提言の知事への手交 (R元. 12. 20)

<県内の刑法犯認知件数>  
 昨年まで18年連続で減少  
 H13ピーク時の約1/4まで減少  
 H13:17,660件⇒R元:4,508件  
 (R元/H13=25.5%)  
 H30:4,846件⇒R元:4,508件  
 前年比▲338件(▲7.0%)

日本一  
 安全で安心な  
 県をめざして



年末特別警戒 (R元. 12. 6)

<県内の交通死亡事故死者数>  
 昨年の死者数は、S20に統計開始以来、2番目に少ない数値、平成以降最少  
 ・交通事故死者数(うち高齢者(65歳以上))  
 H30:54人(35人)構成率64.8%  
 R元:34人(24人)構成率70.6%  
 前年比▲20人(▲11人) +5.8%  
 増減率▲37.0%(▲31.4%)

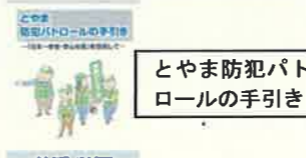
## 地域ぐるみの防犯活動の推進

- 地区安全なまちづくり推進センター活性化事業(H18~)  
 ・H17:0カ所 → R元:219カ所 ・補助1~3年:5万円、4年~:3万円
- 青色パトロール活動支援事業(年間1台1万円) (H21~)  
 ・青パト登録台数 H16:5隊 13台→149隊 592台(R元.12現在)
- 地域防犯設備効果体感事業(H30.10~)  
 ・町内会等への防犯カメラの貸出し(6カ月)
- 住宅街等防犯設備緊急整備事業(H31.4~)  
 ・防犯カメラや青パトへのドライブレコーダーの設置支援
- ながら見守り活動の推進(H30.10~)  
 ・犬の散歩、ジョギング、買い物等、日常生活中に子どもを見守る活動
- 有識者会議の設置・開催(R元8~12 3回開催)  
 ・小宮立正大学教授をはじめ県内外の有識者が、子どもの安全確保と地域防犯力の強化について議論を重ね、昨年末に提言書として取りまとめられた。



## 安全なまちづくりを担う人材育成

- 民間防犯パトロール隊  
 ・H16:124隊 6,689人⇒598隊 38,979人(R元.12現在)
- 安全なまちづくりカレッジの開催(H19~)  
 ・一般講座(県民、パトロール隊向け、約200人参加)
- 学生防犯ボランティア講座等(H23~)
- 防犯活動スキルアップによる地域防犯力強化事業(R元.10~)  
 ・とやま防犯パトロールの手引きの作成(R2.2作成)  
 ・防犯リーダー等へのホットスポット・パトロール実践講習の開催(R2.2.15)  
 犯罪が起きやすい場所を重点的に見回るパトロール



## 子どもの安全対策

- 学校安全パトロール隊 467隊 34,863人(H31.4現在)
- 学校、家庭及び地域の連携による安全教育
- 学校安全対策緊急点検事業(H31.4~)  
 ・2か年で全学校の防犯マニュアル緊急点検を実施
- 県立高校防犯対策事業(R元.10~)  
 ・県立高校に防犯カメラを一斉に整備
- 未就学児のための道路交通安全緊急対策事業(R元.10~)  
 ・保育所等周辺の交差点における防護柵の設置(お散歩コースの安全確保)
- 未就学児の安全・安心を守る出前講習の実施(R元.10~)  
 ・幼保施設の教職員、保護者に対する防犯・交通の専門家による出前講習
- 私立幼稚園防犯カメラ等設置事業(R元.10~)  
 ・私立幼稚園の安全確保のため、防犯カメラ等の設置補助を実施
- 特別支援学校通学バス緊急対策事業(R元.10~)  
 ・特別支援学校のスクールバスに防犯備品を配備
- 通学路における子どもの安全確保対策事業(R元.10~)  
 ・声掛け等の前兆事案の早期解決を図るため、可搬式捜査カメラを設置
- 交通安全施設(信号機)の改良(R元.10~)  
 ・歩行者の安全対策のため、歩行者用灯器や右折矢印灯器を増設



## 高齢者の安全対策

- 特殊詐欺被害ゼロ地区運動(H30.8~)  
 ・運動期間中(8~12月)に被害ゼロを目指す地域運動等
- 高齢者の交通事故防止対策  
 ・サポカー体験型高齢者交通安全教室の開催  
 ・高齢歩行者等交通安全教室等の実施
- 農業用水路事故防止対策推進会議の開催 (H31.1~R元.12 4回開催)



## 県民の意識高揚

- 安全なまちづくり推進大会の開催  
 ・安全なまちづくり・とやま賞等による顕彰(R元.10.7)
- カギかけ防犯推進事業(H20~)  
 ・中学校・高校を対象としたカギかけ防犯コンテスト(39中学、11高校参加)等

## 今後の方向や取組み

- 地区安全なまちづくり推進センターの設置・活性化  
 ・地区安全なまちづくり推進センターへの支援・設置促進  
 ・青色回転灯装備車(青パト)の配備促進と活動支援
- 防犯環境の整備・改善  
 ・防犯カメラ、ドライブレコーダーなどハード面の整備・改善
- 防犯活動の裾野の拡大  
 ・県民、事業者、各種団体等と連携した防犯活動の推進  
 ・ホットスポット・パトロールの普及促進  
 少ない人数・短時間で犯罪抑止効果が期待されるパトロール手法を推奨  
 ・効果的な見守り活動の推奨  
 事業者に対して、ホットスポットに着目した活動を支援(見守り活動リーフレットの作成・配布等)



ながら見守り活動リーフレット

- 安全なまちづくりカレッジの充実  
 ・担い手の育成と裾野の拡大、後継者の育成  
 ・優良な自主防犯活動の事例発表
- 若者の参加促進  
 ・学生防犯ボランティアによる継続的な防犯パトロール活動参加の促進  
 ・先進的な取組みを行う県外大学生等との交流による活性化  
 ・自主企画活動に対する支援



学生防犯ボランティアによるパトロール活動

- 学校安全パトロール隊の活動への支援  
 ・学校安全パトロール隊による子どもを見守る取組みを支援  
 ・スクールガード・リーダー(H31:警察OB等11名)による指導、助言等
- 子ども110番の家などの充実  
 ・協力者への研修会、講習会の実施 (H31.3現在:14,605箇所)
- 地域安全マップ作りの推進  
 ・地域安全マップ作成プロセスを通じて、子どもの景色読解力や地域の連帯感の向上
- リスク管理を含めた防犯講習の開催  
 ・犯罪企図者に犯罪機会を与えない、すきを見せない環境づくり  
 子どもが周囲の景色を見て、危険か安全かを判断する能力
- 防犯上の指針の改定  
 ・犯罪は動機があっても機会がなければ実行されないので「場所」に注目する考え方  
 犯罪が発生しにくい環境を作るために、人的な防犯活動(ソフト面)と併せて、建物、道路、公園等の物理的な環境(ハード面)の整備、強化等を行い、犯罪の起きにくい環境を形成するという考え方



登下校の見守り活動

- 特殊詐欺被害防止対策の推進  
 ・被害防止に向け県民、事業者等が一体で取り組む。
- 高齢者の交通事故防止対策の推進  
 ・高齢者に対する交通安全教育・啓発活動  
 ・交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問
- 農業用水路安全対策ガイドラインに基づく対策の推進  
 だまされんちゃ官民合同会議 (R元. 7. 30)



だまされんちゃ官民合同会議 (R元. 7. 30)

- 安全なまちづくり推進大会の開催  
 ・条例制定15周年記念大会の開催
- カギかけ防犯対策の推進  
 ・啓発物品の提供、キャンペーン等の実施等  
 ・カギかけ優秀モデル校の表彰  
 安全なまちづくり推進大会 (R元. 10. 7)



安全なまちづくり推進大会 (R元. 10. 7)